

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「インベスコ 欧州東方拡大株式ファンド」は、  
このたび、第13期の決算を行いました。

当ファンドは東欧諸国およびロシアの株式を実質的  
な主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長  
を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報  
告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上  
げます。



## インベスコ 欧州東方拡大株式ファンド 追加型投信／海外／株式



### 第13期末(2018年6月22日)

基準価額	9,976円
純資産総額	1,336百万円
第13期	
騰落率	13.5%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

## 交付運用報告書

第13期(決算日 2018年6月22日)  
作成対象期間(2017年6月23日～2018年6月22日)

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100  
(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

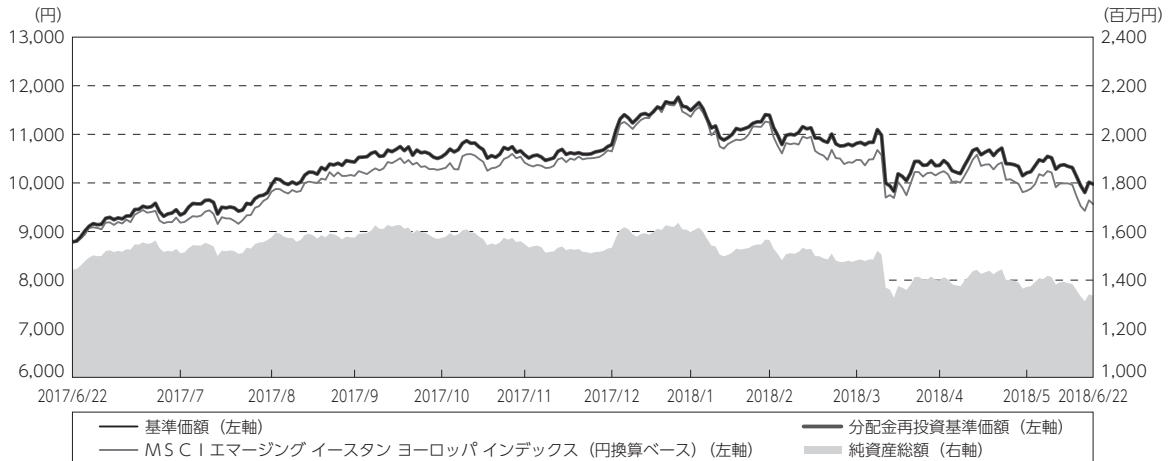
ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

**UD**  
**FONT** 見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2017年6月23日～2018年6月22日)



期 首：8,787円

期 末：9,976円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：13.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCI エマージング イースタン ヨーロッパ インデックス (円換算ベース) は、期首(2017年6月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCI エマージング イースタン ヨーロッパ インデックス (円換算ベース) は、参考指数です。参考指数の詳細は11ページをご参照ください。

## ○基準価額の主な変動要因

## 【上昇要因】

- 東欧諸国およびロシアの株式を実質的な主要投資対象としているため、①東欧諸国の景気が底堅く推移したこと、②ロシアの景気に回復基調が見られ始めたこと、③好調な企業業績が確認され、2018年も業績拡大の見通しが出てきたこと一などを背景に株価が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- 中長期的な企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーション(投資価値)などを総合的に勘案して選定した銘柄によりポートフォリオを構築した結果、LUKOIL PJSC-SPON(ロシア/エネルギー)、SBERBANK(ロシア/銀行)、TATNEFT PAO-SPONSORED GDR(ロシア/エネルギー)などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

## 【下落要因】

- ・2018年2月以降、①米国金利の上昇、②米国と欧州・中国との貿易摩擦、③米国の対ロシア制裁の発動—などから株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・NOSTRUM OIL & GAS（英国／エネルギー）、KRUK（ポーランド／各種金融）、UNITED COMPANY RUSAL（ロシア／素材）などの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。
- ・実質外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、投資対象資産の中で、組入比率が最も高かった米ドルが対円で下落したことが、マイナス要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

(2017年6月23日～2018年6月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	214	2.052	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(113)	(1.080)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 90)	(0.864)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 11)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	7	0.069	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権□数
（ 株 式 ）	( 7)	(0.069)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権□数
（ 株 式 ）	( 1)	(0.012)	※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	32	0.305	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権□数
（ 保 管 費 用 ）	( 21)	(0.197)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 4)	(0.039)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	( 7)	(0.069)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	254	2.438	
期中の平均基準価額は、10,420円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2013年6月24日～2018年6月22日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIエマーヅィング イースタン ヨーロッパ インデックス(円換算ベース)は、2013年6月24日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年6月24日 決算日	2014年6月23日 決算日	2015年6月22日 決算日	2016年6月22日 決算日	2017年6月22日 決算日	2018年6月22日 決算日
基準価額 (円)	8,286	9,378	8,579	6,972	8,787	9,976
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	13.2	△ 8.5	△ 18.7	26.0	13.5
MSCIエマーヅィング イースタン ヨーロッパ インデックス(円換算ベース)騰落率 (%)	—	15.5	△ 11.5	△ 24.9	18.0	8.8
純資産総額 (百万円)	2,149	2,039	1,654	1,245	1,443	1,336

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) MSCIエマーヅィング イースタン ヨーロッパ インデックス(円換算ベース)は、参考指数です。参考指数の詳細は11ページをご参照ください。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。

(2017年6月23日～2018年6月22日)

## 投資環境

ロシアRTS指数(ロシア)	+15.0%	プラハPX指数(チェコ)	+7.7%
ブダペスト証券取引所指数(ハンガリー)	△1.1%	ワルシャワWIG指数(ポーランド)	△7.2%

※株価指数の騰落率は当期末時点(対前期末比)の数値です。

当期の東欧諸国およびロシアの株式市場は、①同地域の景気の底堅さ、②好調な企業業績一などに支えられて堅調に推移しましたが、2018年2月以降、①米国金利の上昇、②米国と欧州・中国との貿易摩擦、③米国の対ロシア制裁の発動、④欧州の政局不安を受けた投資家のリスク回避姿勢の高まり一などから下落に転じました。

ロシアでは、①2018年2月の米国のインフレ上昇懸念を背景とした米国長期国債の利回り上昇や、米中の貿易摩擦をきっかけに世界的な株安となったこと、②米国トランプ政権によるロシアに対する経済制裁措置の発動一などから大きく下落する局面もありましたが、①原油や天然ガスの価格が好調に推移したこと、②景気の回復が確認されたこと一などが好感され、前期末比で大幅に上昇しました。

一方、ポーランドやハンガリーでは、2018年2月までは上昇基調で推移していたものの、①米国長期金利の上昇、②5月のイタリアやスペインをはじめとする欧州の政局不安一などが嫌気され、前期末比で下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2017年6月23日～2018年6月22日)

主として、インベスコ 東欧・ロシア株式 マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)に投資を行い、マザーファンドを通じて、東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場されている株式(DR(預託証券)を含みます)に投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主として東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場されている株式(DR(預託証券)を含みます)を投資対象とし、中長期的な企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーション(投資価値)などを総合的に勘案して選定した銘柄によりポートフォリオを構築しました。

当期は、窒素肥料の製造に注力しているロシアの肥料・飼料のメーカーPHOSAGRO PJSC-GDR S(ロシア/素材)、ロシアで最も人気の高いサーチ・エンジンを提供するインターネット・サイトの運営会社YANDEX NV-A(ロシア/ソフトウェア・サービス)を購入しました。それぞれ、①需要の拡大が期待できる環境下にあること、②市場占有率が高いリーダー的な存在であること、③利益率の向上が見込まれていること一などから、魅力的なバリュエーション水準を捉えて組み入れを実施しました。その他、鉄鉱石や石炭の採掘を行うEVRAZ(英国/素材)やPHILIP MORRIS CR AS(チェコ/食品・飲料・タバコ)を新規に組み入れました。一方、株価のバリュエーションの魅力度が低下したと判断し、LUXOFT HOLDING(スイス/ソフトウェア・サービス)、INTER RAO UES PJSC(ロシア/公益事業)、LENTA-REG S(ロシア/食品・生活必需品小売り)を全売却しました。また、米国によるロシアのアルミニウム産業に対する経済制裁の影響を受けたUNITED COMPANY RUSAL(ロシア/素材)の保有を

解消しました。

当期末では「資本財・サービス」「素材」「不動産」などの組入比率が参考指数と比較して高めとなる一方、「金融」「エネルギー」「公益事業」などの組入比率が低めとなりました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年6月23日～2018年6月22日)

当期の基準価額騰落率は+13.5%となり、参考指数であるMSCIエマージング イースタン ヨーロッパ インデックス (円換算ベース) の騰落率+8.8%を上回る結果となりました。

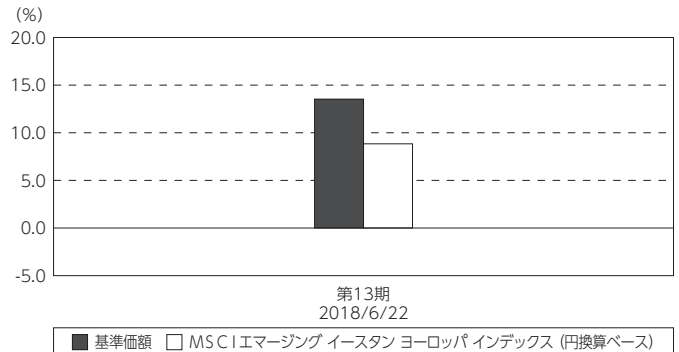
### [プラス要因]

- ・業種別では、「生活必需品」「素材」「エネルギー」の銘柄選択が大きくプラスに寄与しました。また、「資本財・サービス」の組み入れを参考指数と比較して高めにしていたことなどがプラスに寄与しました。
- ・国別では、「ロシア」の銘柄選択、「ポーランド」の組み入れを参考指数と比較して低め、「英国」の組み入れを高めとしていたことがプラスに寄与しました。

### [マイナス要因]

- ・業種別では、「金融」の銘柄選択や、「生活必需品」の組み入れを参考指数と比較して高めとしていたことなどがマイナスに影響しました。
- ・国別では、「ポーランド」の銘柄選択、「ポルトガル」の組み入れを参考指数と比較して高めとしていたことなどがマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) MSCIエマージング イースタン ヨーロッパ インデックス (円換算ベース) は、参考指数です。参考指数の詳細は11ページをご参照ください。

(2017年6月23日～2018年6月22日)

**分配金**

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

**○分配原資の内訳**

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第13期
	2017年6月23日 ～2018年6月22日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,964

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針**

主として、マザーファンドに投資を行い、マザーファンドを通じて東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場されている株式(DR(預託証券)を含みます)に投資を行います。実質外貨建資産の投資に当たっては、原則として為替ヘッジは行いません。

マザーファンドでは、主として東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場されている株式(DR(預託証券)を含みます)を投資対象とし、中長期的な企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーション(投資価値)などを総合的に勘案して選定した銘柄によりポートフォリオを構築します。

当期の後半は、世界的に貿易摩擦への懸念が強まったことや、米国のロシアへの経済制裁による投資家のリスク回避志向が同地域の株価にも影響を与えました。今後も、外部要因により株価の変動率が高まる局面が想定されますが、当運用チームでは引き続き、東欧・ロシア地域の株式市場に明るい見通しを持っています。ロシアの経済指標では、小売売上高、鉱工業生産、購買担当者景気指数(PMI)などに強さが見られ、失業率も低下しています。米国による経済制裁の影響についても、各産業の対応には落ち着きが見られ、内需は回復し始めています。ロシアの2018年業績予想は引き上げられており、企業業績の見通しにも明るさがうかがえます。また、東欧諸国でも経済の基礎的条件(ファンダメンタルズ)は堅調で、健全な業績の伸びが見られるため、明るい見通しを維持しています。また、同地域は貿易相手として密接な関係を持つユーロ圏が良好な経済成長を続けていることから、その恩恵を受けています。

当運用チームでは、同地域の株価のバリュエーションは過小評価されているとみており、今後も多くの投資機会が発掘できると考えています。また、主要な新興国の中でロシア株の配当利回りが最高水準



であることも、投資における魅力の一つと考えています。

以上のような投資環境下、当ファンドでは健全なバランスシートとキャッシュフローを持ち、魅力的なバリュエーションを有する企業に注目していきます。さらなる投資機会を発掘すべく、周辺国の企業調査も積極的に実施していきます。これまで同様、ロシア、ポーランド、ハンガリーなどを中心に広く国別の分散を図りつつ、企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーションなどを総合的に勘案し、魅力的な投資機会を発掘する方針です。

## お知らせ

該当事項はございません。

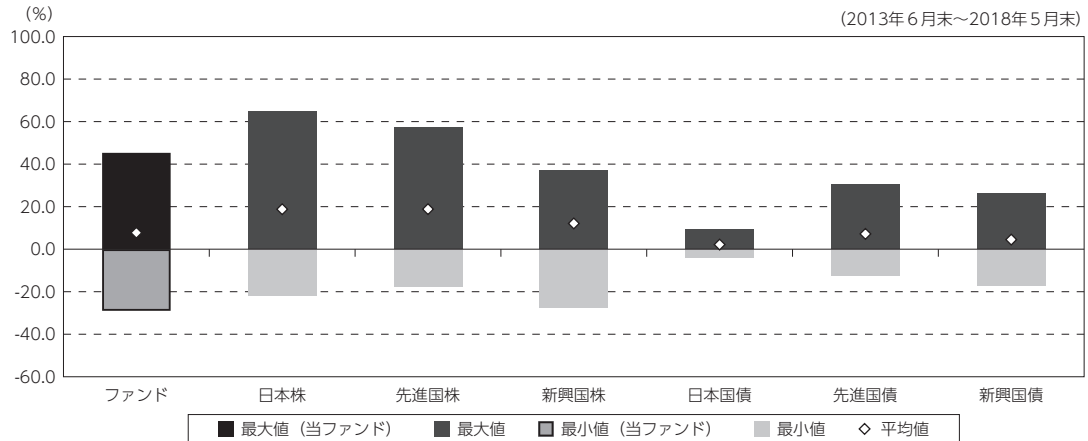
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「インベスコ 東欧・ロシア株式 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。</li> <li>・実質外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
主要投資対象	インベスコ 欧州東方拡大株式ファンド	「インベスコ 東欧・ロシア株式 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ 東欧・ロシア株式マザーファンド	東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている企業の株式（国外に上場するDR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マザーファンド受益証券への投資を通じて、東欧諸国およびロシアの証券取引所に上場されている株式（DR（預託証券）を含みます）に投資を行います。</li> <li>・中長期的な企業収益の成長性、市場の流動性、株価のバリュエーション（投資価値）などを総合的に勘案して選定した銘柄に投資します。</li> </ul>	
分配方針	年1回の毎決算時（原則として6月22日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市場動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。	



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	7.7	18.8	18.8	12.1	2.2	7.2	4.5
最大値	45.3	65.0	57.1	37.2	9.3	30.4	26.1
最小値	-29.0	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年6月から2018年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2018年6月22日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第13期末
インベスコ 東欧・ロシア株式 マザーファンド	101.2 %
組入銘柄数	1銘柄

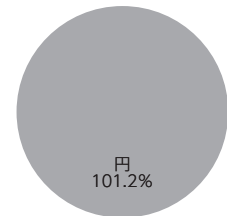
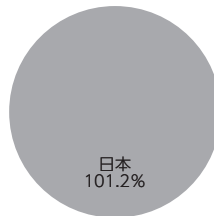
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

## 純資産等

項目	第13期末
	2018年6月22日
純資産総額	1,336,268,843円
受益権総口数	1,339,541,742口
1万口当たり基準価額	9,976円

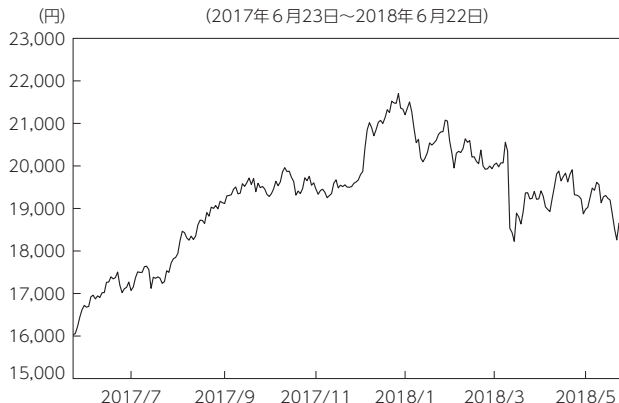
\* 期中における追加設定元本額は56,948,400円、同解約元本額は360,336,347円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 東欧・ロシア株式 マザーファンド

【基準価額の推移】

(2017年6月23日～2018年6月22日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年6月23日～2018年6月22日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	13 (13)	0.069 (0.069)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	2 (2)	0.012 (0.012)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	38 (38) (0)	0.196 (0.196) (0.000)
合計	53	0.277

期中の平均基準価額は、19,189円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2018年6月22日現在)

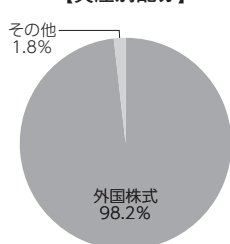
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
				%
1 LUKOIL PJSC-SPON	エネルギー	米ドル	ロシア	9.7
2 NOVATEK PJSC GDR REGS	エネルギー	米ドル	ロシア	8.0
3 SBERBANK	銀行	米ドル	ロシア	7.8
4 ALROSA PJSC	素材	米ドル	ロシア	5.0
5 POWSZECHNY ZAKLAD UBEZPIECZEN	保険	ポーランドズロチ	ポーランド	4.8
6 PJSC GAZPROM	エネルギー	米ドル	ロシア	4.8
7 MMC NORILSK NICKEL PJSC-ADR	素材	米ドル	ロシア	4.6
8 TATNEFT PAO-SPONSORED GDR	エネルギー	米ドル	ロシア	4.5
9 ROSNEFT OIL PJSC-GDR	エネルギー	米ドル	ロシア	3.9
10 MOBILE TELESYSTEMS	電気通信サービス	米ドル	ロシア	3.3
組入銘柄数			37銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

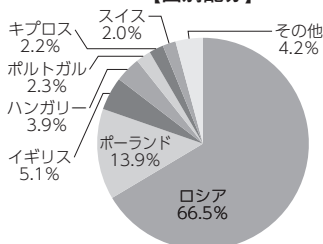
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

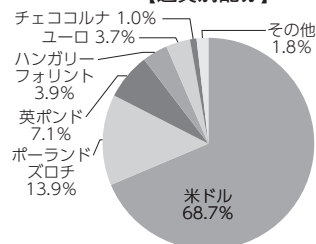
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍(所在国)などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

### ＜当ファンドの参考指数について＞

当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてMSCIエマージング イースタン ヨーロッパ インデックス（円換算ベース）を掲載しています。当該参考指数は、MSCIインクが公表する前営業日のMSCIエマージング イースタン ヨーロッパ インデックス（米ドルベース）に当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場仲値）を乗じ、設定日を10,000として、当社で独自に指数化したものです。MSCIエマージング イースタン ヨーロッパ インデックスは、MSCIインクが開発した株価指数で、同指数に関する著作権、その他知的財産権はMSCIインクに帰属しています。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

#### ○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### ○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社（「JPモルガン」）に帰属しております。JPモルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。